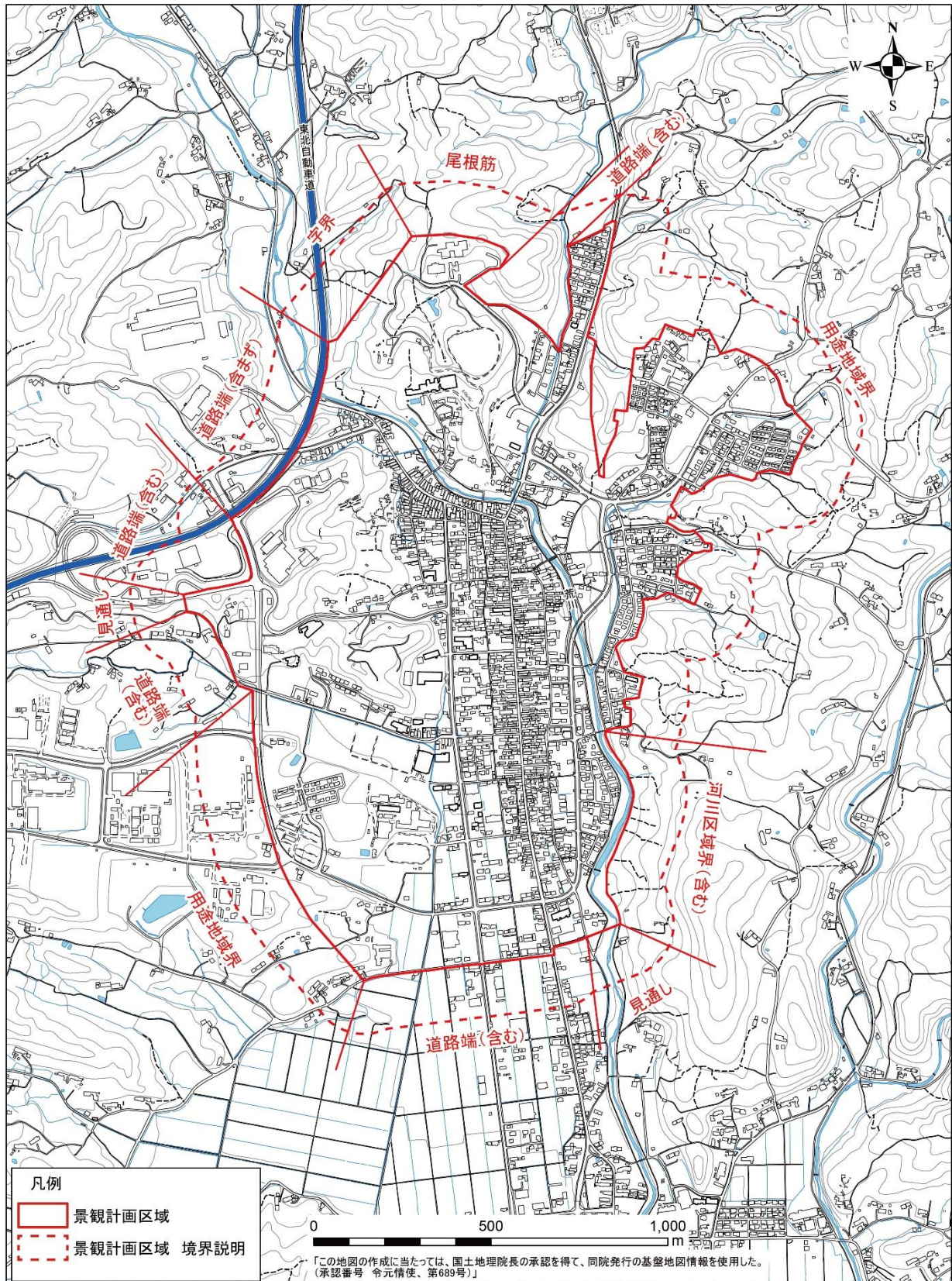


9 村田町中心部地区

(1) 景観計画区域

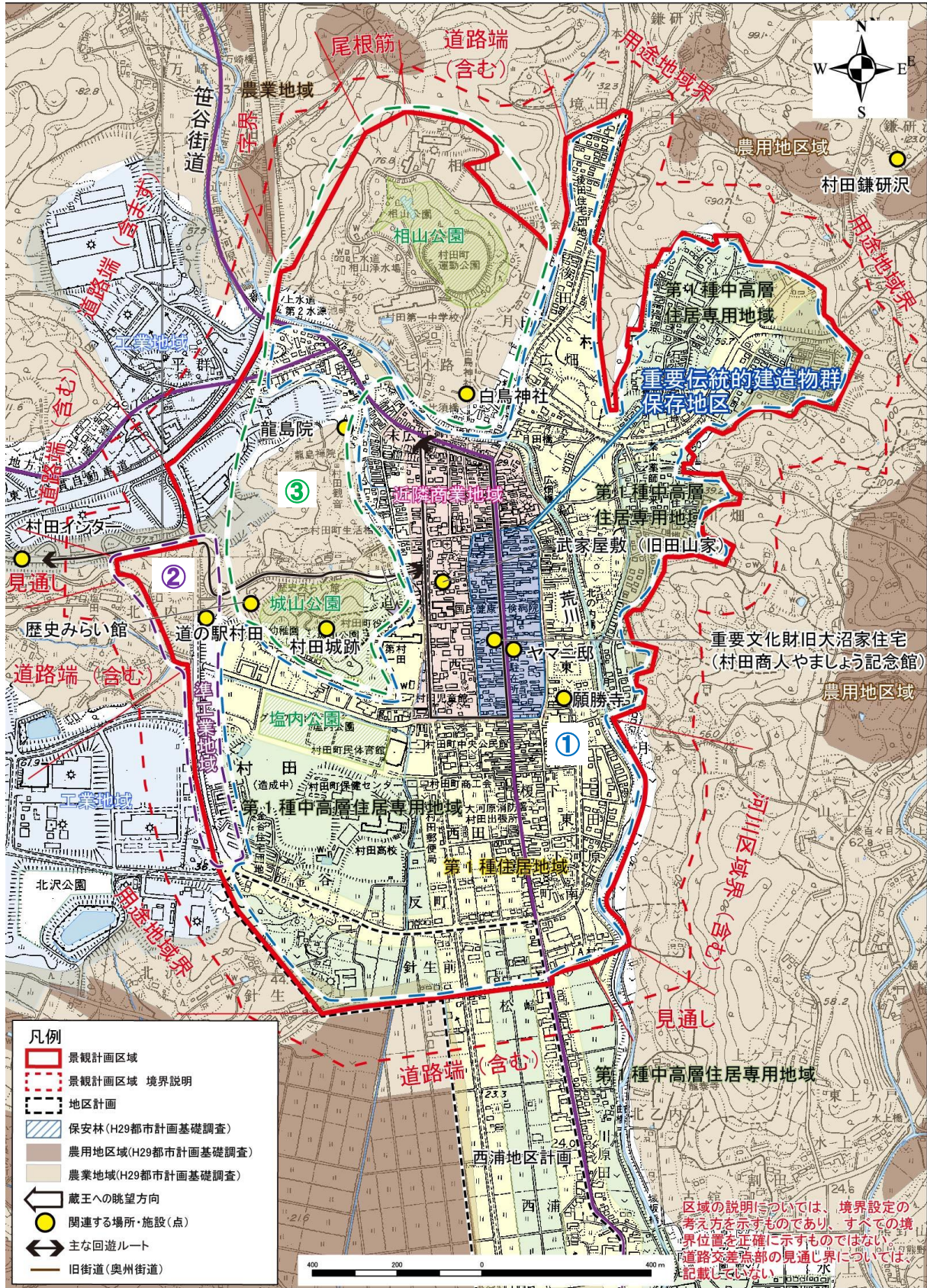
村田町中心部地区の区域図を以下に示します。



【区域の考え方】

村田町中心部地区の区域は、以下の考え方を踏まえて設定しました。

当該区域を指定する目的
<ul style="list-style-type: none">・村田城跡東の街道沿いに形成された商業地として栄えた歴史を今に伝える、中心部の重要伝統的建造物群保存地区を核に、近代化とともに広がりながら形成されてきた現在の中心部及び周辺の住居系市街地を対象に、村田の歴史と伝統を活かした市街地景観の形成を図ることを目的とし、景観計画区域を指定する。
地区内で見られる景観（景観の概況）
<p>■仙南地域らしさを象徴する景観</p> <ul style="list-style-type: none">・重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「蔵の街並み」は、紅花や藍の交易で栄えた商業都市に由来し、店蔵と門が連続する特徴ある歴史的な街並みが維持されている。・重要伝統的建造物群保存地区を含む地区中心部には古い町割りや住宅が残り、一体的な街並み景観を形成している。 <p>■地区固有の景観</p> <ul style="list-style-type: none">・蔵のある通り沿いは南北に長い街区となっており、建物の間から背後に迫る里山までを見通すことができる。・重要伝統的建造物群保存地区外には住宅や店舗が見られる。地区中心部は平坦だが、周囲は起伏が多い地形となっており、周辺を里山に囲まれた盆地となっている。・地区中心部から外れると、北東の方向に近年住宅地として造成された住宅街が見られる。
区域設定の考え方
<p>■基本的な考え方</p> <p>歴史的な商業都市である重要伝統的建造物群保存地区を中心に、村田町の人々が暮らす市街地（工業団地等の工業エリアを除く）を対象に、歴史的な地区と調和した市街地景観の形成を図る必要がある。</p> <p>■個別の考え方（丸数字は、次ページの図中の丸数字に対応）</p> <p>①歴史的な街並みの残る地区の周囲に広がる既成市街地</p> <p>村田町の歴史的な特性を伝えつつ、それらと調和した快適かつ潤いある住環境の形成を目指し、歴史的な街並みと周囲に広がる丘陵地の緑や河川と調和した市街地景観の形成に向け、中心部と一体的に景観形成を図る必要があるため、区域に含めた。</p> <p>②村田インターチェンジ周辺及びインターと中心部を結ぶ幹線道路沿い</p> <p>村田インターチェンジ周辺及びインターと中心部を結ぶ幹線道路沿いは、広域的な交通ネットワークである東北自動車道からの来訪者を迎える玄関口としての役割を担っており、歴史的な街並みを有する市街地へとつながる景観形成を目指し落ち着いた景観形成に向けた配慮を求める必要があることから、区域に含めた。</p> <p>③城山公園から龍島院、相山公園等からなる丘陵地</p> <p>城址である城山公園から龍島院、相山公園等からなる丘陵地は、歴史と自然が調和した緑豊かな環境として、地域の人々に親しまれている場であることを踏まえ、市街地と一体的に利用される自然地として、自然環境の保全と市街地景観との調和を図る必要があるため、区域に含めた。</p>



▲区域設定検討図

(2) 景観形成方針

村田町中心部地区における景観形成方針を以下に示します。

■ 自然景観の保全

- ・ 公園等の丘陵地の樹林地が作り出す緑の景観は、市街地の背景となる潤いある自然景観として保全を図る。
- ・ 荒川の環境を保全するとともに、水と河畔林等が作り出す潤いある水辺景観の保全を図る。

■ 個性を活かす景観の創出

- ・ 商家町として栄えた歴史的な街並みの保全を図る。
- ・ 歴史的な街並みを持つ中心部と調和した市街地景観の形成を図るとともに、周囲を取り囲む山々の緑と調和した落ち着いた市街地景観の形成を図る。
- ・ 東北自動車道村田インターチェンジ周辺やインターへのアクセス道路沿いでは、歴史を継承した市街地へ続く町の玄関口にふさわしい町の魅力を感じさせる落ち着いた景観形成を図る。

(3) 景観形成基準

村田町中心部地区における景観形成基準を以下に示します。

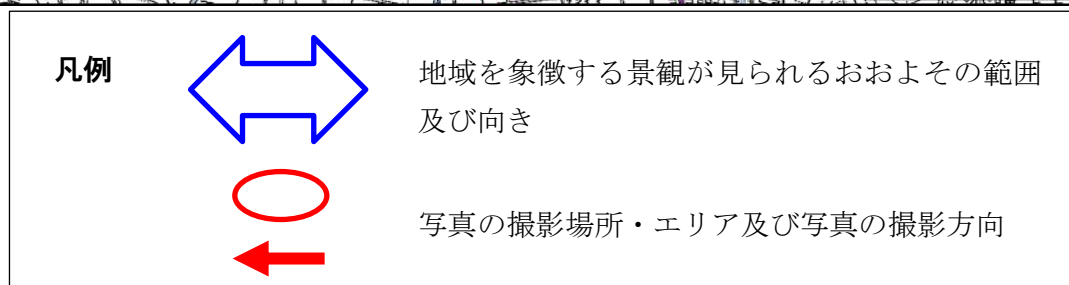
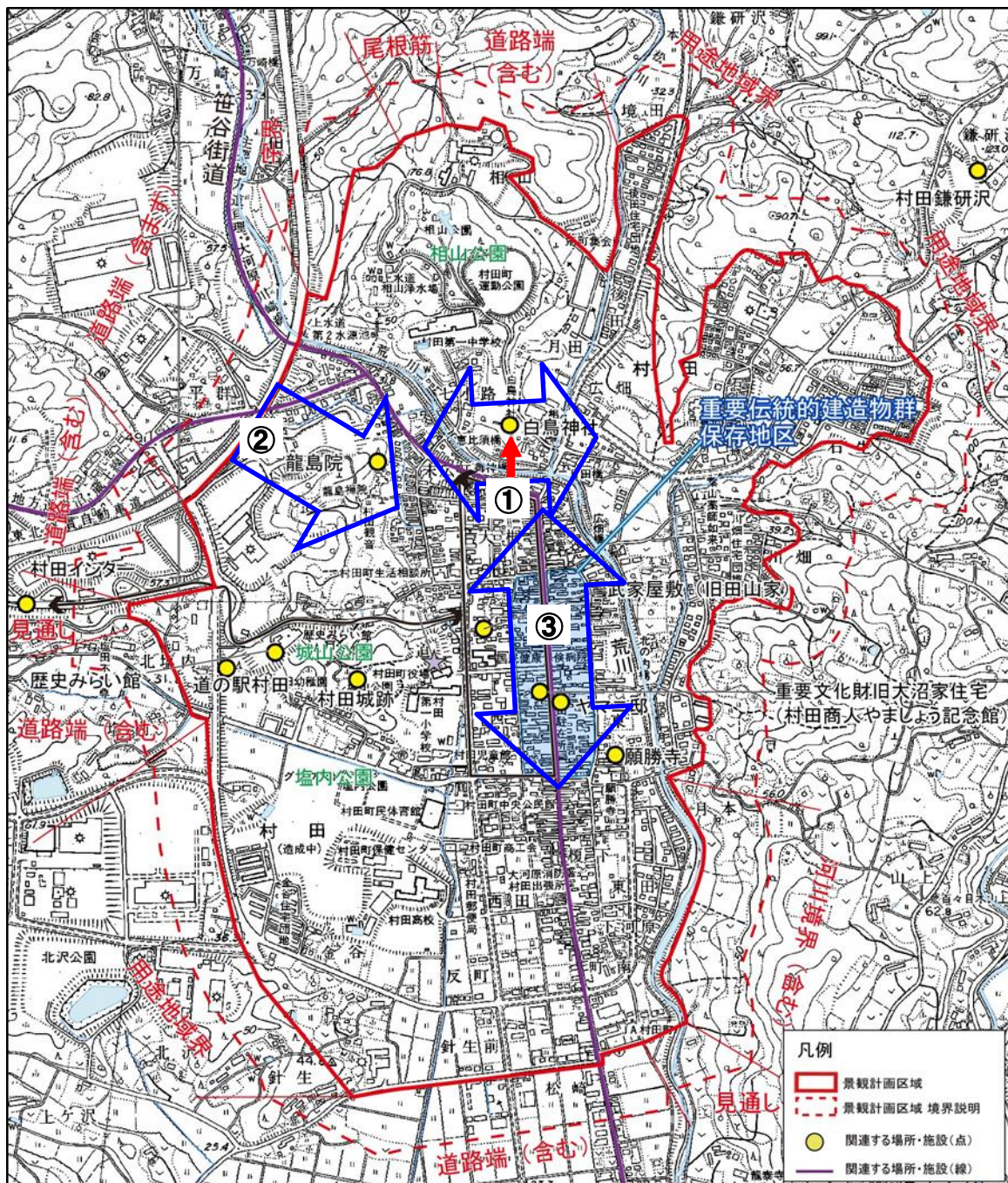
▼景観形成基準

行為	項目	景観形成基準	※■：地域の特徴を踏まえた基準
建築物 ・工作物	配置 ・位置	<input type="checkbox"/> 周囲との調和に配慮した配置とする。 <input type="checkbox"/> 大規模な施設となる場合には、オープンスペースを有効に配置し、潤いある市街地景観の形成に努める。	
	高さ	<input checked="" type="checkbox"/> 歴史的な街並みとの連続性に配慮し、周囲と調和した高さとする。	
	形態 ・意匠	<input checked="" type="checkbox"/> 歴史的な市街地及び周辺では、伝統的な建造物による街並みと調和するよう落ち着いた形・意匠となるよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 住居系市街地では、周囲から突出する奇抜なものは避け、周囲と調和した屋根、外壁等の形態・意匠とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 荒川等の水辺では、水辺を活かし周囲の自然と調和した形態・意匠となるよう配慮する。 <input type="checkbox"/> 大規模な建築物等では、長大な壁面を避け、周囲に与える圧迫感を軽減に努めた形態・意匠となるよう配慮する。	
	色彩 ・素材	<input checked="" type="checkbox"/> 歴史的な市街地及びその周辺では、伝統的な建造物等と調和するよう、外壁や屋根における素材や色彩に配慮する。 <input type="checkbox"/> 外壁の基調となる色彩は、高彩度の色は避け、色彩を組み合わせる場合には、全体としてのトーンを合わせた統一感のある配色とする。 <input type="checkbox"/> 屋根の色彩は、建物との調和に配慮し、周囲から突出しないものとする。	
	設備類	<input type="checkbox"/> 屋上設備、屋外設備は、建築物との一体化や道路等の公共空間から見えない位置に配置する。やむを得ない場合には、通りからの見通しに対する遮へい等を行い、周囲の景観に影響を与えないよう配慮する。	
	外構 ・緑化 等	<input type="checkbox"/> 道路との境界部にオープンスペースを設ける場合には、樹木や花壇等を活用し、潤いある通り景観の創出を工夫する。 <input type="checkbox"/> 駐車場を設ける場合には、出入口を最小限に整理し、道路境界部や敷地内における植樹等、周囲に閑散とした印象とならないよう配慮する。	
開発行為・土地 の形質の 変更・木 竹の植栽 伐採	周辺への 配慮	<input type="checkbox"/> 周囲の自然環境、植生等に配慮する。	
	造成等	<input type="checkbox"/> 既存の地形を活かした造成に努め、切土・盛土は最小限とする。 <input type="checkbox"/> 法面や擁壁等を設ける場合には、周囲の環境との調和に配慮した素材や工法とする。	
	既存樹 木・樹 林等の 保全	<input type="checkbox"/> 地域の景観を印象づける高木等の既存樹木は、可能な限り保全するよう努める。 <input type="checkbox"/> 植樹をする際は、周囲の自然植生に配慮した樹種の選択に努める。 <input type="checkbox"/> 伐採後は、自然の植生の再生に向けた措置を行うよう努める。	

※地区整備計画に基づき景観コントロールが図られている地区計画の区域においては、景観法第16条第7項第10号の規定により、景観計画に基づく届出に関する規定が適用されないことから、上記の景観形成基準も適用しない。

※文化財保護法に基づき景観コントロールが図られている伝統的建造物群保存地区の区域においては、景観法施行令第10条第3号の規定により、景観計画に基づく届出に関する規定が適用されないことから、上記の景観形成基準も適用しない。

(参考) 区域で見られる景観 (丸数字は、次ページの表中の丸数字に対応)



区域で見られる景観	説明
 <p data-bbox="194 618 504 651">①白鳥神社（図内赤矢印）</p>	<p data-bbox="716 244 1062 277">●白鳥神社と周囲の街並み</p> <p data-bbox="716 293 1402 421">白鳥神社は、仙南地域に広く信仰されている白鳥信仰に基づいた神社で、地域の信仰を伝える重要な要素となっている。</p> <p data-bbox="716 436 1402 613">また、周囲の街並みは低層の建築物を中心とした街並みが広がり、街道に向かって南北に奥行きがある町割りが残り、街道沿いに発展した街並みの名残がうかがえる。</p>
 <p data-bbox="194 1003 517 1037">②龍島院から市街地を望む</p>	<p data-bbox="716 676 1082 710">●丘陵地及びそこからの眺め</p> <p data-bbox="716 725 1402 996">当該地区の周囲は、城山公園，龍島院，相山公園などの丘陵地に囲まれており，緑豊かな景観が見られる。龍島院からは市街地を望むことができ，低層の建築物を中心とした村田町の中心部と，その向こうに広がる里山が調和した穏やかな街並み景観を望むことができる。</p>
 <p data-bbox="194 1458 408 1491">③村田蔵の街並み</p>	<p data-bbox="716 1061 895 1095">●蔵の街並み</p> <p data-bbox="716 1111 1402 1288">かつて紅花などの流通で栄えた村田町は，商家の蔵が立ち並ぶ街並みが重要伝統的建造物群保存地区に指定され，その歴史性を伝える景観を形成している。</p> <p data-bbox="716 1303 1402 1480">町割りは東西に奥行きがあり，やましょう記念館では道沿いにある蔵のみならず中庭や奥の蔵を見学することができ，街並みの景観を形づくる由来を伝える重要な要素となっている。</p>

